公立大学法人 大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

大阪府立大学創基 130 年記念事業 130 創基130年 1883–2013

# 大阪府立大学 理学部公開セミナー

# 東日本大震災と 21 世紀の大地震

**日時：2012 年 1 月 7 日（土） 14：00 -16：30（開場 13：30）**

**会場：大阪府立大学なかもずキャンパス**
**U ホール白鷺**

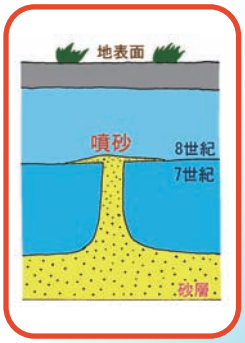
**講師：寒川（さんがわ） 旭（あきら） 氏**
**（独立行政法人 産業技術総合研究所）**

講演、テレビ、著作を通じて、地震や防災の啓蒙活動を展開！

寒川旭氏は、古文書を読み解き、各地の遺跡で発掘された地割れや液状化現象による噴砂などの地震の痕跡を調査することで、古代以降の地震の時期と規模を明らかにするという、独特の研究手法を用いて、地震考古学という新しい学問分野を開拓・構築されました。寒川氏は９世紀前半に関東地方北部や東北地方において、マグニチュード７前後の地震が相次ぎ、その後貞観（じょうがん）地震が発生していることを明らかにし、東日本大震災規模とされる平安時代の貞観地震（西暦８６９年）や関東地震や東海・東南海・南海地震の３連動とみられる仁和（にんな）地震など９世紀に起きた地震が、阪神大震災（平成７年）以降の地震の状況と酷似していることを指摘されました。さらに、近い将来、首都圏直下型や３連動型地震が起きる可能性が高く、千年に一度の巨大地震の世紀になるかもしれないとの警鐘を鳴らされています。

理学部公開セミナーでは、寒川氏をお招きし、次の項目について、遺跡と古記録から過去の地震を知る「地震考古学」の成果をわかりやすくお話していただきます。

1）東日本大震災の概要と貞観地震や仁和地震の発生した９世紀の地震活動について紹介する。
2）南海トラフにおける過去千数百年の地震の発生の歴史を概観し、近い将来に発生する巨大地震について考える。
3）大阪平野周辺の活断層を概観し、京阪神・淡路地域に甚大な被害を与えた伏見地震について詳しく解説する。




■プロフィール
東北大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）
通商産業省工業技術院地質調査所を経て、現在は
独立行政法人　産業技術総合研究所招聘研究員。
専門は地震考古学、地震地質学

■主な著書
「地震考古学　遺跡が語る地震の歴史」中公新書 1992
（現在は中公文庫 e 版）
「発掘を科学する」（共著）岩波新書 1994
「秀吉を襲った大地震　地震考古学で戦国史を読む」平凡社新書 2010
「地震の日本史増補版　大地は何を語るのか」中公新書 2011

■申込方法：『往復はがき』または『E メール』で、氏名（ふりがな）・年齢・郵便番号・住所・電話番号をご記入の上、お申込み下さい（携帯メールでの受付は行っておりません）。定員 700 人（応募者多数の場合は抽選）。申込締切：12 月 12 日（月）（必着）。参加費無料。どなたでもご参加いただけます。

■申込先
〒599-8531　大阪府堺市中区学園町 1-1
大阪府立大学地域連携研究機構 生涯教育センター「理学部公開セミナー」係
E メール：rigaku2011@ao.osakafu-u.ac.jp　電話：072-254-9942

■会場へのアクセス
◎南海高野線「白鷺」駅下車南西へ、500 m。
◎地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車　5 番出口南東へ、1000 m。
◎南海本線堺駅、JR 阪和線三国ケ丘駅から南海バス（北野田駅前行 31、32 系統、堺駅から約 24 分、三国ケ丘駅から約 14 分）に乗車し、府立大学前下車。　※駐車場はありませんので、電車・バス等をご利用ください。

●講義内容についてのお問合せ：072-254-9162
http://www.s.osakafu-u.ac.jp/newsopen_seminar2011

（主催：大阪府立大学理学部）